

電子化された医薬品添付文書情報の利活用に関する研究 (主任研究者 土屋文人)

【目的】

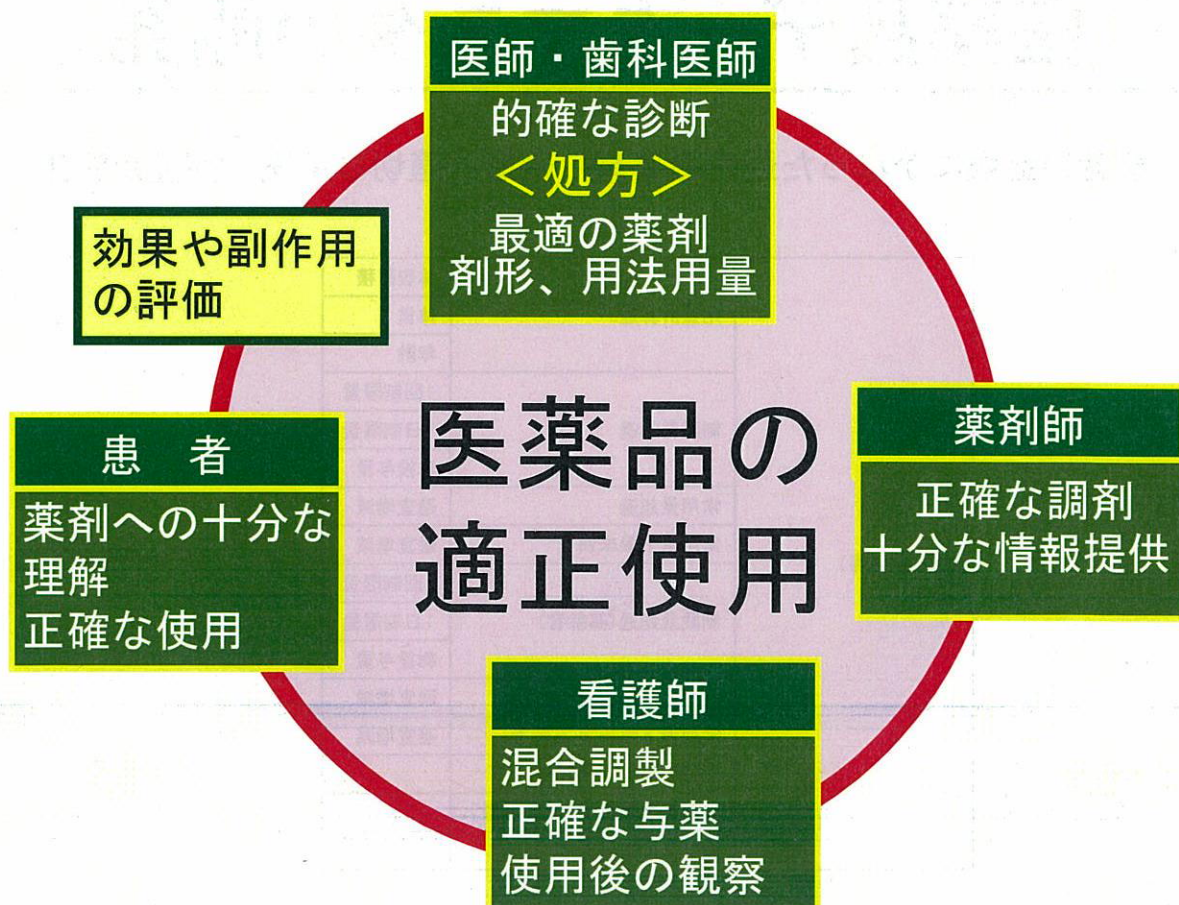
処方時のエラー防止が可能となるようなデータ

類似名称、禁忌薬剤、禁忌症、適応症に合致した用法
用量等

安全性情報が処方医に伝わるためのデータ

緊急安全性情報、使用上の注意の改訂等

1



医薬品データマスタの開発

患者の症候に合った最適の薬剤，剤形と適切な用法・用量が決定

禁忌薬剤	病名との関係	剤形	複数剤形		
	併用禁忌(相互作用)		複数規格		
	小児		徐放性		
	妊婦		腸溶性		
	授乳婦		割線の有無		
	高齢者		粉碎の可否		
	高度臓器機能障害患者		用法	投与経路	
	投与禁止条件(検査値)			投与回数	
	継続投与中止条件(検査値)			投与時期	
				投与速度	
薬剤選択	名称類似薬品	休薬期間			
	ハイリスク薬警告	適応外使用時			
	専門性の有無				
	第2選択薬				
	単独使用禁止(併用必須)				
	定期的な検査の必要性				
	同意書の必要性				
	経過措置期限超過				
	法的規制薬剤関係				
	後発薬品関連				

3

医薬品データマスタの開発

患者の症候に合った最適の薬剤，剤形と適切な用法・用量が決定

用量(制限等)	用量計算違い	体表面積
		体重
		年齢
	制限量超過	1回制限量
		1日制限量
		総投与量
	常用量超過	適宜増減
	常用量下限未満	適宜増減
	制限量超過(高齢者)	1回制限量
		1日制限量
		総投与量
	常用量超過(高齢者)	適宜増減
	常用量下限未満(高齢者)	適宜増減
	分量の単位(対薬価基準)	
	薬価基準単位との調整係数	
投与量の減量条件		

4